

平成29年度国立大学法人琉球大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日時及び場所	平成29年11月29日(水) 13:10～ 琉球大学本部棟2階 第一研修室	
委員	委員長 仲地 健(沖縄国際大学産業情報学部 教授) 委員 鈴木 啓子(鈴木啓子税理士事務所) 委員 田里 友治(田里公認会計士事務所)	
審議対象期間	平成28年10月1日～平成29年9月30日	
抽出案件(合計)	7 件	(備考) 国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項にのっとり、互選により仲地委員が委員長に選出された。 抽出案件の個別審議については、【審議資料】に基づき、各発注担当課長から工事概要説明を行い、施設企画係長より契約手続概要説明を行い、質問等に回答をした。
工事(小計)	5 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	5 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務	2 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

質問	回答
<p>1. 建設工事に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】 (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】 (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】 (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>4. 建設工事における抽出案件の審議</p> <p>【(医病)中央設備機械室ボイラー設備新設工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目と3回目の入札金額が大きく落ちたのはなぜか。 ・入札と入札の間はどのくらい時間をあけているのか。 ・予定価格に達するまで、何回も入札をやるのか。 ・参加業者が1者しかいなかったのはなぜか。 <p>【(千原)附属小学校等小荷物専用昇降機設備改修工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が99.68%と高い為に抽出したが、5回目で落札したと分かり、納得した。 ・保守契約はこの業者がやるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札会場で対面ではなく、電子入札システムで入札しており、またヒアリングを行っていないため、どのような理由かわかりません。 電子入札システムのため、入札参加者も他社の入札参加状況などが分からないようになっています。 ・30分が基準です。 ・原則は2回としていますが、入札執行者の判断で何回も入札する場合があります。 ・県内にボイラーメーカーの代理店が5社程度あるため、複数の参加者を想定していましたが、当時は県内の工事受注及び職人の県外流出が多かったため、人手不足だったと分析しています。 ・本件も電子入札システムで、何回も入札を行いました。 ・いいえ。学内各所のエレベータの保守業務をまとめて、入札しています。

質問	回答
<p>【(医病) 附属病院放射線部CT室改修工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札業者の割合が参加者の8割以上だが、多かった理由は何か。 ・ヒアリングはしたのか。 ・予定価格を設定する際、県内の業者から見積を取らなかったのはなぜか。 <p>【(千原) 附属図書館3階開架閲覧室内装改修工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が53.73%と低いのか。 ・この業者は琉球大学の受注は初めてか。 ・辞退業者がいるのはなぜか。 ・実績を取りたいのは分かるが、赤字覚悟ということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・X線シールド工事(鉛貼り工事)について、県外の専門メーカーの見積を参考に予定価格を設定しましたが、県内の内装業者が自社施工可能であったため、県外から職人が来沖して施工するよりも、安価に施工出来ることが判明しました。 ・昨年の入札監視委員会の指摘を踏まえて、ヒアリングを実施する運用に見直しました。技術面、施工体制、社会保障費や最低賃金以上の支払いなどについてヒアリングをしています。 ・担当者の調査不足です。今後、見直します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングしたところ、本学の工事实績が欲しかったとのことでした。 自社施工であること、資材が粗悪品でないことなどを確認しました。 ・はい。 ・本件と同時期に別工事を受注したためだと思います。 ・本件は工事内容がタイルカーペット張替なので、材料費はタイルカーペットのみであり、また自社施工のため、赤字になる要素はあまりないと考えられます。

質問	回答
<p>【(千原)基幹・環境整備(工2号館等受変電設備改修その他)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札価格と最低基準価格の差が大きいなぜか ・当初の想定では参加業者が少ないと予想しているが、実際多く参加しているのはなぜか。 ・6社も辞退しているのはなぜか。 <p>【(千原)球陽橋耐震改修等設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子入札の中、紙入札がいるがいいのか。 ・紙入札は事前に送付されてくるのか。 ・工事期間はいつまでか。 ・工事期間中の施工監理はこの受注者がやるのか。 ・工事と違って設計業務は、物を仕入れるとかがないので、純粋に人件費か。 ・入札価格に500万近くばらつきがあるが、それは入札参加者の作業量(人件費)の見込み方の違いか。 <p>【医学部及び同附属病院移転整備基本設計(フレームワーク)業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格と最低基準価格とかなりの差があるが、なぜか。 ・諸経費が結構上ってしまったということか。 ・工事は平成36年度完成か。 ・どの参加者も受注しなかったのでは。 ・評価表は、競争参加者が分からないように匿名にされているが、評価は何名でどのように行ったのか。 ・1位と2位が2点差だが、業務に対する取組意欲で差が出たのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングしたところ、メーカーの価格協力により盤類などが安く入手出来るとのことでしたので、調査の結果、契約に至りました。 ・2位以下の入札価格は、予定価格と近い金額となっており、積算が間違っていた訳ではないと思います。 ・県内職人の人手不足を予想していましたが、電気工事は参加者が多いこともあるようです。 ・他の工事を受注したために辞退したと思います。 ・以前は辞退することが、発注者に対してよろしくないイメージがあったため少なかったですが、今は普通に辞退します。 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの不具合で電子入札システムが利用出来ない場合などに、紙入札での参加を認めています。 ・期限までに持参となっています。開札は入札会場で行っています。 ・年度末までです。 ・本学職員が行います。 ・はい。 ・はい。なお、これまで本学が発注する設計業務は、プロポーザル方式がほとんどで、本件のような価格競争とした事例がなく、比較検討できる案件はありません。 <ul style="list-style-type: none"> ・諸経費を除く、直接人件費が最低基準価格になります。 ・設計業務の積算基準に基づき算出しており、直接人件費に対して諸経費が大きいため、違和感があるのだと思いますが、国交省の積算基準で定められたルールであるご理解いただきたい。 ・はい。 ・そう思います。 ・評価は委員は7名で行っており、合議制です。 ・本件は各社の配置予定技術者のヒアリングを実施しており、技術提案書のプレゼンや質疑応答などの対応が取組意欲などの評価に加味され、若干の差がついています。